

1 目的

小児・AYA世代の終末期がん患者が、安心して終末期を過ごせる地域医療体制を整備する

2 背景

小児・AYA世代のがん患者の特徴として、血液がんや希少がんに罹患しやすく、在宅でも高度な医療が求められる。

高齢患者と病態が異なる小児・AYA世代のがん患者に対応した在宅療養支援者のノウハウが不十分。

患者の暮らす地域ごとの在宅療養支援者間的小児・AYA世代特有の連携・体制が必要。

3 事業計画（令和5年度から7年度）

ア 小児・AYA世代の終末期医療理解促進事業

- ・ 研修教材の作成（令和5年度）
- ・ オンライン研修（小児・AYA世代に関する理解促進、人材育成）

イ 実技研修事業（県内14病院） 令和5年度 2病院予定

- ・ がん診療連携拠点病院ごとの技術研修
- ・ 地域医療関係者間のネットワークの構築

